

平成18年度行政評価結果(平成17年度実施事業)

	所属名称	H17決算 (単位:千円)	事務事業名称	事業 の 必要 性	事業 の 優 先 性	事業 の 経 済 性	事業 の 有 効 性	事業 の 公 平 性	合 計	事業説明	事業活動指標	評価結果の具体的理由	評価結果
1	環境総務課	6,160	環境基本計画推進事業	5	5	3	5	4	22	住宅用太陽光発電システムの一部補助や環境学習講座、あつぎ環境写真展などを開催し、環境に対する市民の理解を深めることにより、地球温暖化対策を推進した。 太陽光発電補助件数 49件	太陽光発電補助件数 49件	環境負荷の低減は最終的には市民一人ひとりの意識の問題であることから、各種事業の推進が必要のため。	継続
2	環境総務課	1,239	環境保全率先実行計画推進事業	5	5	4	4	4	22	深刻化している環境課題に事業者及び消費者としての立場から、環境負荷の低減に向けた取組を組織的に率先して行うことを目的に厚木市環境保全率先実行計画(改訂版)の策定をした。	見直し項目数 23項目	環境負荷の低減に向けた取組を組織的に率先して行う必要があるため。	継続
3	環境総務課	1,973	河川等環境美化推進事業	5	4	3	4	2	18	相模川クリーンキャンペーン、相模川三川合流点付近河川敷清掃(35回)などを実施したことにより、「ふるさとの川」相模川を大切に、その美しい環境と清流が守られた。 参加者数 4,000人	キャンペーン等参加者数 4,000人	河川は、本市の自然環境を象徴するものであり、郷土の河川の環境と清流を守るため。	継続
4	環境総務課	23,120	合併処理浄化槽普及促進事業	5	4	3	4	4	20	合併処理浄化槽の整備に一部補助を実施したことにより、生活環境の保全及び公衆衛生の向上が図られた。 補助整備数 45基	補助設置数 45基	動植物の生息地、市民の憩いの場として、貴重な財産である河川を保全していくため。	継続
5	環境総務課	61,937	ごみ処理広域化運営事業	5	5	3	5	5	23	ごみの中間処理施設や最終処分場の確保のため愛川町及び清川村とともに厚木愛甲環境施設組合を設置、基礎調査等を実施した。 中間処理施設を厚木市に、最終処分場を清川村として、平成24年度に広域処理開始を目指す準備が図られた。	調査委託数 2件	平成24年度に広域処理開始を目指し、具体的な施設整備等を計画的に推進していくため。	継続
6	環境総務課	100,102	一般廃棄物処理施設建設基金積立事業	5	5	5	5	4	24	基金を設置し、積立を行った。 ごみ処理広域化での中間処理施設及び最終処分場の施設整備について、後年度における建設費の財政的な負担軽減が図られた。	-	ごみ処理広域化での中間処理施設及び最終処分場の施設整備に向けた計画的な財源確保していくため。	継続
7	環境総務課	1,780	里山マルチライブプラン事業	4	4	4	4	4	20	ボランティアが荻野・七沢地区の里山での生活文化の体験や里山の手入れを行い、里山と人との関わりを取り戻すことにより、本市の豊かな自然環境を保全していくことができた。 参加者人数 18人 実施箇所 2箇所	ボランティア数 18人	本市の自然環境と景観を象徴する里山を市民参加によって保全するとともに、市民に自然の大切さを知ってもらうため。	継続
8	環境総務課	370	稀少動植物保護事業	5	4	3	4	2	18	オオタカの生態及び周辺環境等を観察し、生態系保護を図る資料を作成したことにより、絶滅危惧種であるオオタカの保護に役立てた。 対象地区数 2地区 巣立ち数 3羽	調査委託数 2件	絶滅危惧種であるオオタカの保護をしていくため。	継続
9	環境総務課	50	あつぎの鳴く虫復活事業	3	4	4	3	4	18	鳴く虫の増殖場を愛名緑地に設置し、鑑賞会などを実施したことにより、自然環境の保全が図られた。 鑑賞会参加者数 16人	参加者数 16人	在来種及び自然環境の保全とともに、自然の中で虫の音を聴く機会を市民に提供していくため。	継続
10	環境総務課	3,500	地域の川に親しむ集い開催事業	5	3	3	4	4	19	河川を安全で親しみやすい憩いの場とするため、5,900人の市民が参加した「河川ふれあいまつり」を開催した。 川に住む生物とのふれあいや漁業など、川にまつわる文化や歴史を体験したり、河川環境について学習することができた。	参加者数 5,900人	河川を安全で親しみやすい憩いの場としていくため。	継続
11	環境総務課	754	河川愛護事業	3	3	3	4	3	16	下依知フラワーパーク、三川合流点付近花壇を市民による維持管理したことにより、未来を担う子供たちに健康な心と体を育む場と機会を提供した。 2地区での参加者数 120人 2地区の面積 10,750㎡	参加者数 120人	市民による河川敷内での花壇づくりを支援する特色のある市民協働事業であるため。	継続

	所属名称	H17決算 (単位:千円)	事務事業名称	事業 の 必要 性	事業 の 優 先 性	事業 の 経 済 性	事業 の 有 効 性	事業 の 公 平 性	合 計	事業説明	事業活動指標	評価結果の具体的理由	評価結果
12	資源対策課	5,057	不法投棄防止対策事業	4	5	3	4	4	20	不法投棄防止パトロールの実施などの防止対策を実施したことにより、さわやかで自然豊かな生活環境を確保した。 パトロール回数 112回	パトロール 実施回数 112回	自然豊かな生活環境を確保するため、不法投棄防止活動の継続と新たな取組みが必要であるため。	継続
13	資源対策課	413,306	ごみ減量対策事業	5	5	3	4	4	21	自治会などの地区別資源分別回収(10,010t)、廃食油の回収(7,900kg)等の資源回収事業や生ごみ処理容器(86基)の斡旋販売などを実施した。	資源分別 回収量 10,010トン	循環型社会の構築を推進していくため。	継続
14	環境事業課	9,383	低公害車両導入事業	5	4	2	4	3	18	ごみ収集車の一部をディーゼル車から低公害車両であるCNG車(圧縮天然ガス車)に切り替え、二酸化炭素の削減(1台当たりの二酸化炭素排出量を30%削減)により、地球環境の保全と省エネルギーの推進が図られた。 購入台数1台	購入台数 1台	地球環境の保全と省エネルギーの推進を図るため。	継続
15	生活環境課	13,232	環境美化推進事業	5	4	4	4	3	20	環境保全指導員の委嘱や「厚木市みんなで守る美しい環境のまちづくり条例」キャンペーンを実施することにより、ポイ捨てや落書きの禁止、歩行喫煙禁止の努力義務を啓発、また、地域美化清掃、年末美化清掃などの実施により美しいまちづくりの実現が図られた。 美化清掃等参加者数 40,116人	美化清掃等 参加者数 40,116人	美しい環境のまちづくりの実現を目指して、実効性のあるものにしていくため。	継続
16	生活環境課	7,456	大気汚染防止対策事業	5	5	3	4	4	21	市内6箇所自動測定機による大気汚染状況の把握、工場などの排煙調査(5箇所)を実施したことにより、市民の健康、自然環境の保全に寄与した。 立ち入り調査数 6箇所	定点観測 調査箇所数 6箇所	市民の生活環境の保全を図るためにも、継続的に状況を把握していく必要があるため。	継続
17	生活環境課	20,758	水質汚濁防止対策事業	5	5	3	4	3	20	河川、地下水、市内事業場排水の水質調査などを実施したことにより、公共用水の水質保全、生活環境の保全が図られた。 河川調査箇所数 24箇所 事業所排水調査数 15箇所	河川調査 箇所数 24箇所	市民の生活環境の保全を図るためにも、継続的に状況を把握する必要があるため。	継続